

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	H.I	学部・学科	国際総合科学部 国際総合科学科
学年	4年	派遣国	大韓民国
派遣大学	仁川大学校		
期間	2021年 8月 24日～ 2022年 1月 30日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <u>学外の学生寮</u> / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / <u>2人部屋</u> / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	○
滞在費	約 (76,000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	() で、約 () 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	52,000 円	
学用品購入費	円	
交通費	4,000 円	
交際費	4,000 円	SIM カード代
その他	円	
合計	60,000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安が悪いところはありませんでした。危険な地域もありませんでした。

3. 医療について

(1) 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(5) ヶ月間	保険料	(60,580) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 ()

【学業編】

1. 大学情報

大学		所在地	
最寄空港		空港からの距離	
空港⇄大学	() *移動手段		
学生数		留学生数	
学部	*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		韓国語の理解 9:00~10:15 10:30~11:45			
午後		4級韓国語 練習 13:30~14:45 15:00~16:15		韓国言語文化 入門 15:00~16:15 16:30~17:45	4級韓国語 13:30~14:45 15:00~16:15

3. 履修内容

科目(和訳)	韓国語の理解		
履修期間	9月7日～12月14日	単位数	3
授業内容/形態	韓国語4級レベルの文法の学習		

科目(和訳)	4級韓国語		
履修期間	9月7日～12月14日	単位数	3
授業内容/形態	韓国語4級レベルの文法の学習		

科目(和訳)	韓国言語文化入門		
履修期間	9月7日～12月14日	単位数	3
授業内容/形態	韓国語4級レベルの文法の学習		

科目(和訳)	4級韓国語		
履修期間	9月7日～12月14日	単位数	3
授業内容/形態	韓国語4級レベルの文法の学習		

【総括】

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

まず、仁川大学に留学することが出来て良かったなと思います。

仁川大学にある国際交流院のサポートが手厚く、分からないことがあり質問すれば、すぐ対応して下さります。また、私が所属した北東アジア通商学部の教授もとても親切な方でした。半年間という短い期間でしたが、安心して仁川大学で過ごすことが出来ました。

言語の面では、授業が始まった当初とても大変でした。語学授業のレベル分けテストをし、自身が思っていたより上のレベルのクラスに行けた時はとても嬉しかったです。授業が始まった途端、自身が習ったことのない韓国語の範囲で、授業に追いつくことが出来ませんでした。教科書を用いて授業を進めるのですが、9月中は、教科書の内容も分からず、周りの生徒が発言する中、私は何も発言することが出来ず焦りながら授業を受けていました。

しかしこのままではいけないと思い、予習・復習をし、あらかじめ分からない単語や文法は調べた状態で授業を受けました。すると、少しずつ余裕を持って授業を受けることが出来るようになり、10月中旬頃から授業に追いつけるようになりました。

また、10月と12月に中間試験と期末試験がありました。10月の中間試験対策では、授業で習ったところ以外で分からない韓国語が多くあり、試験対策より復習に時間をかけました。その分、試験対策の時間が短くなってしまいましたが、分からない韓国語を復習し、基礎が出来上がったおかげで、試験対策をスムーズに進めることが出来ました。

11月からは、授業に追いつくだけでなく、自ら発言をして積極的に授業に参加しました。このように、月日が経ち、自身の韓国語の語学力が向上すると共に、授業を受ける姿勢が積極的になりました。このような変化を実感することが出来て良かったです。

そして、なにより、チューター制度があったことがとてもありがたかったです。横浜市立大学に以前留学していた仁川大学の学生の方と一緒に勉強会をしたおかげで、分からない韓国語を質問することが出来、授業で習ったところ以外でも様々な質問をすることが出来ました。

このように自身の努力の他にも、周りのサポートがあったからこそ、私はたくさん韓国語を勉強することが出来、理解を深められました。

また、半年間の留学を通じて、自身の精神面の成長もすることが出来ました。コロナ渦で、現地の韓国人の方とあまり接することが出来ませんでした。自分の行動次第で、状況を良い方向に変えることが出来るということを学びました。そして、自分が置かれた環境下で最大限出来ることは何かを考えることはとても大切であると実感しました。

授業はずっとリモートで、韓国人の友達も少なかったですが、その環境に対する愚痴を言って落ち込むのではなく、じゃあ自分はどう行動したら語学力が上がるのか？を考え、実行した結果、韓国語の語学力が向上しました。

特にスピーキング能力を向上させたかったため、数少ない中国人の友達や、韓国語人のルームメイト・友達に自分から積極的に話しかけ、韓国語を話す機会を増やしました。また、一人の時も独り言で韓国語を話し、韓国語に触れる時間を増やしました。

今回の留学では、ただ授業をうけて韓国語を学ぶだけでなく、自分から考え、行動して韓国語を学びに行くことが出来たと思います。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

言語の面では、将来韓国語を使って仕事をし、日本と韓国の架け橋になりたいです。また、半年間培った語学力が衰えないよう、更に向上させるために、韓国語の勉強を継続します。

そして、今後も様々な場面で、受け身にならず自分で考えて行動していきたいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

韓国語を学ぶことが好きな方は、ぜひ交換留学に挑戦してください。私自身、コロナの状況や進路に悩み、留学するかしないかとても迷っていましたが、しかし、自分の‘大好き’を貫き交換留学に行くことに決めました。留学を諦めて後悔したくありませんでした。

もし韓国語を学ぶことが好き・現地に行って学んでみたい、という気持ちがある方は交換留学という1つの選択肢もあるので、考えてみてください。

仁川大学が位置する松島(ソンド)は開発都市のため、道が広く、高層ビルが多く、綺麗な街並みでした。その街並みを見て、散歩するだけでも楽しかったです。仁川大学周辺は、他の韓国にある大学と比べると、近くに学生が集まるお店は無いですが、バスや電車を10分程乗るとたくさんお店があります。そのため、そこまで不便ではありませんでした。

仁川大学の先生の外に、学生も親切な方が多いです。交換留学する場合、仁川大学の学生寮

で住むことになり、現地の韓国人学生と一緒に部屋になることがあります。(コロナ以前は、留学生が多く、日本人同士と一緒に部屋になることもあったそうです。) 私自身、韓国人の学生と一緒に部屋になった当初、とても不安でしたが、ルームメイトはとても優しくかったです。

仁川大学の交換留学では、北東アジア通商学部に所属することになります。この、北東アジア通商学部の現地の韓国人学生は、大学2年次に1年留学が必須になっています。(現在はコロナのため、留学を断念する方も多いそうです。) そのため、北東アジア通商学部の学生自身、他言語を学び、留学を経験する方も多いため、私たち留学生に親身に接してくれます。先ほど言った、学生寮で現地の韓国人学生と同じ部屋になる場合、同学部の北東アジア通商学部の韓国人学生と一緒にすることが多いので、一緒に部屋になっても極度に心配する必要はないと思います。

また、バディー制度・チューター制度があります。バディー制度では、日本語を学んでいる仁川大学の現地学生が、バディーになってくださり、仁川大学に到着した初日、大学や大学周辺を案内してくれます。そして履修登録も手伝ってくれます。また留学生活が始まり、分からないことや問題があった時は、連絡すると助けてくれます。

チューター制度では、週に2回ほど、時間を決めて韓国語を教えてくださいとチューターが付きます。そのチューターは、日本留学を経験している方なので、日本語で会話することも出来ます。チューターと韓国語で話し勉強会する方が、言語を学ぶために良いと思いますが、韓国語で韓国語の分からないところを聞くことは難しいと思います。そのため、日本語で韓国語の分からないところを聞くことが出来、私自身とても助かりました。

仁川大学では、このように留学生のための制度が整っています。そのため、始め韓国語を話すことに不安を感じる方も、安心して留学に行くことが出来ると思います。

そして、半年の留学は長いと思っていましたが、留学を終えて振り返ってみるととても短かったです。そのため、半年留学でも1年留学でも1日1日を大切に過ごしてください。